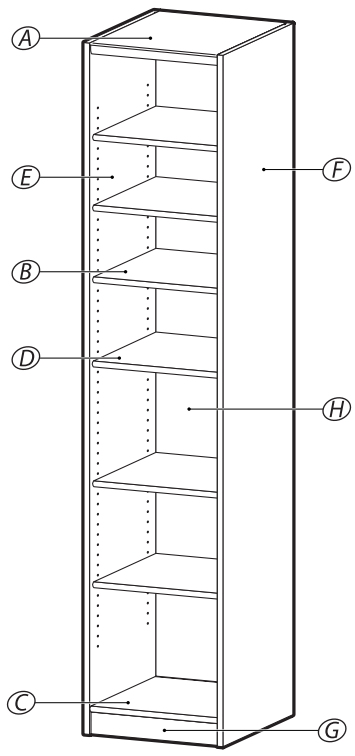
SHIRAI

取扱・組立説明書

管理番号



スロフィー
商品名 SLF-2060NA/IV/DK-80

この度は、お買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるよう大切に保管して下さい。

注意

取扱・組立説明書には、商品を正確に組立て、末永くご愛用していただく為の情報が記されております。本紙の指示通り組立て、ご使用して下さい。

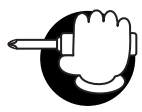
《組立て前に下記注意事項を必ずお読み下さい》

不用意・不適切な組立ては事故につながる恐れがあります

- ●ダンボール箱からの取り出しや、組立ては2人以上で行って下さい。
- ●工具等の取り扱いには十分ご注意下さい。
- ●プラスドライバーの先端＋字は、ネジの⊕字と合ったものをご使用下さい。
- ●組立ての際は、商品部材・部品のカドでのケガや、床・壁等、室内をキズつけないようご注意下さい。
- ●組立ての際は、お子さまに注意し広い場所で行って下さい。
- ●組立て手順に従って部材の取付け、ネジ締めなど確実に行って下さい。
  組立て手順が違うと組立てられない場合があります。
  部材の取付け、ネジ締めなどが不十分ですと使用中に製品が破損しケガをする恐れがあります。
  また、まれにネジ締めが固い場合には、家庭用のロウや石鹸をネジに塗ると入りやすくなります。
  （共通説明書の「組立のポイント」をよくお読み下さい）

※この商品の棚板耐荷重は10kg（98N）ですので、その範囲内でご使用下さい。

組立てに必要な工具です。ご用意下さい。

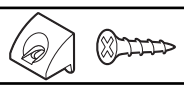
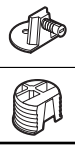
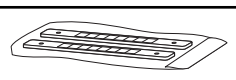

プラスドライバー

ハンマー

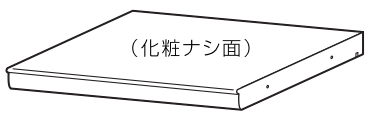
PARTS CHECK ●最初に必要なパーツが揃っているかご確認下さい。

部品 まずは部品のチェック！

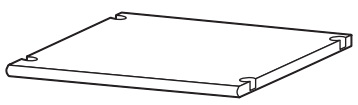
●細かい部品は、箱などにまとめると、紛失を防ぎ組立て作業がスムースです。

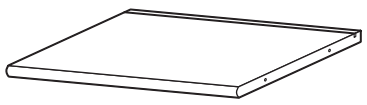
かたち	なまえ	数	チェック
	組立ネジ	8	
	ジョイントビス	8	
	木ダボ	4	
	棚受ダボ	16	
	ボンド	1	
	背板ストッパーセット（ストッパー＋固定ネジ）	8	
	棚ジョイントA	8	
	棚ジョイントB	8	
	ビスシール	8	
	免震補助バンドセット	1	

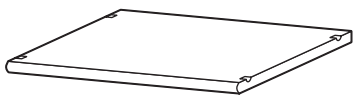
部材 ●Ⓐ～Ⓕのパーツについては、後側に名称が印刷されています。

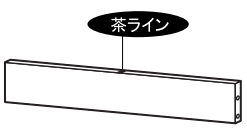


Ⓐ 天 板

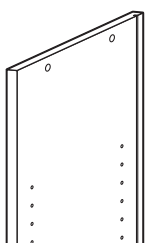

Ⓑ 中 棚×2

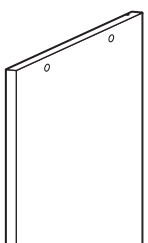

Ⓒ 地 板


Ⓓ 移 動 棚 ×4



Ⓖ 台 輪


Ⓔ 左 側 板


Ⓕ 右 側 板

Ⓗ 背 板

※おことわり／資源活用のため、地板の裏面には不特定な柄の板を使用している事があり、展示品と異なる場合があります。ご了承下さい。

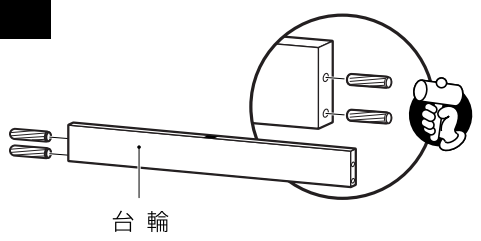
お問い合わせ

●製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら
お手元にこの組立説明書をご用意の上、
0120-22-1378 までお寄せ下さい。受付時間／9:00～17:00（土・日・祝祭日は休み）

株式会社 白井産業／藤枝DC
〒426-0053 静岡県藤枝市善左衛門（ぜんざえもん）1471-2
http://www.shirai-s.co.jp/ E-mail:sri@shirai-s.co.jp

1 台輪に木ダボを取付けます。

木ダボ ×4



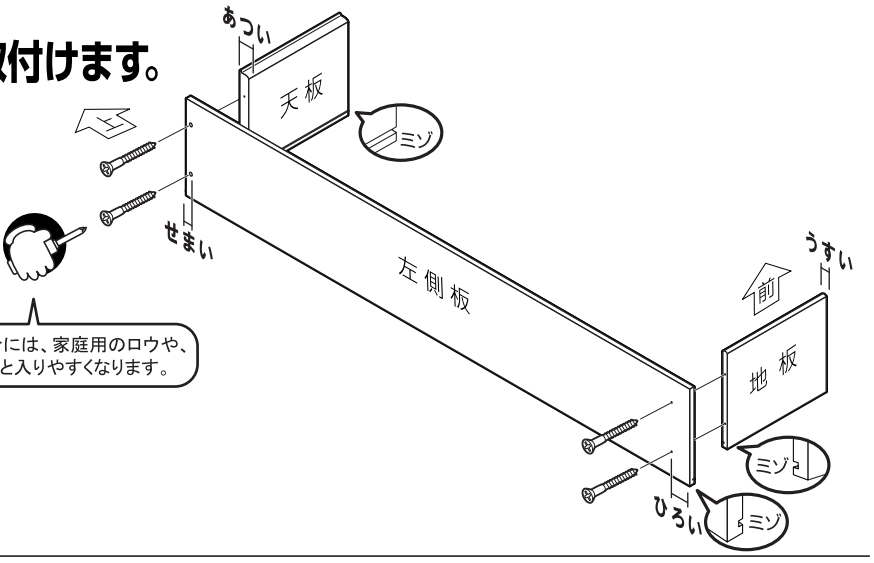
木ダボの目安

打ち込みすぎに注意。

2 左側板に天板と地板を取付けます。

組立ネジ ×4

（ミゾを下側にして下さい）



ネジ締めが固い場合には、家庭用のロウや、石鹸をネジに塗ると入りやすくなります。

3 左右側板に棚ジョイントAを取付けます。

棚ジョイントA ×8

ジョイントビス ×8

※左右側板の棚ジョイントAの取付ける段を必ず同じ高さになるよう注意して下さい。

★棚位置を決めます。

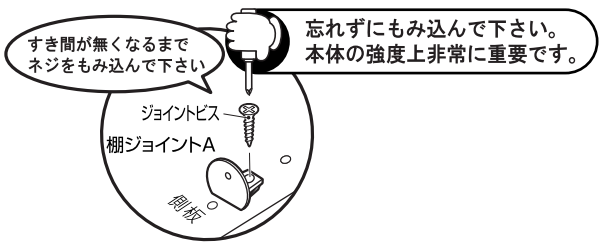
1 お好みの棚位置を想定して、まず棚ジョイントAと棚受ダボを両側板のダボ穴に差し込み、バランスをチェックします。

※注：中棚取付け用の「棚ジョイントA」は強度確保の為、下から1/3、上から1/3程度の位置に取付けて下さい。（右図の矢印付近）

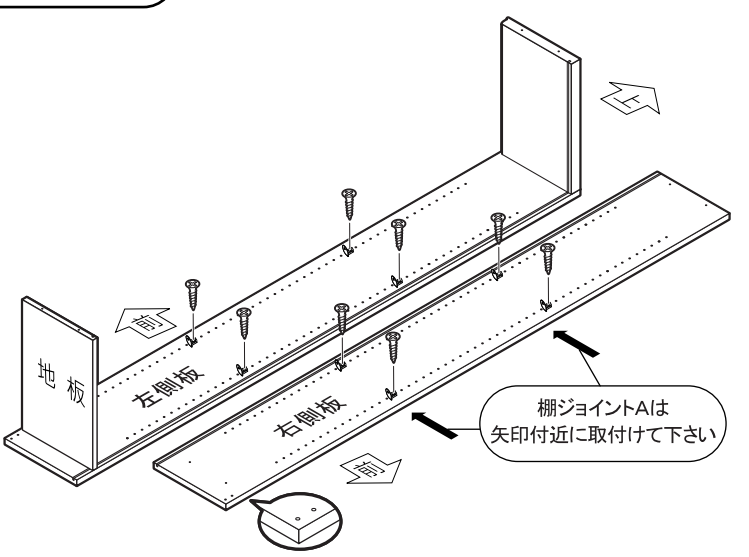
2 位置が決まったら、棚ジョイントAを固定します。

※位置が決まったら棚受ダボは一度はずして下さい。組立7で再度取付けます。

1 側板に棚ジョイントAを差込みます。



2 ジョイントビスで固定します。



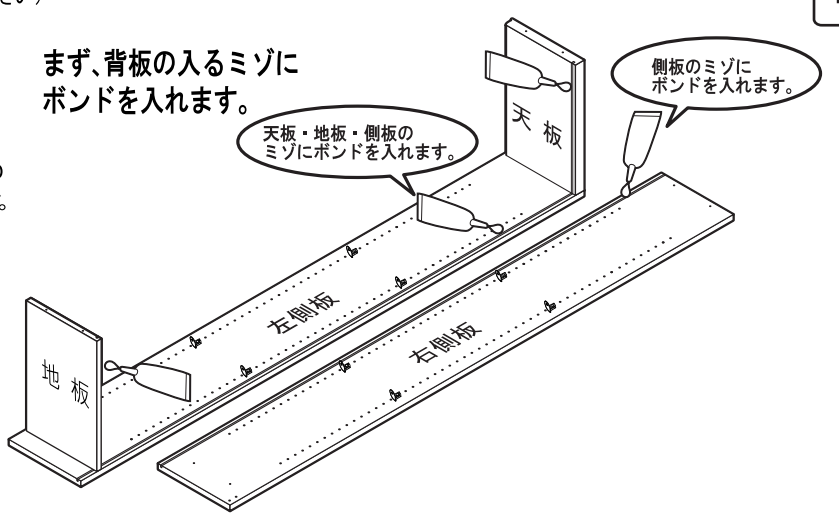
4 背板と台輪を差し込み、右側板を取付けます。

組立ネジ ×4

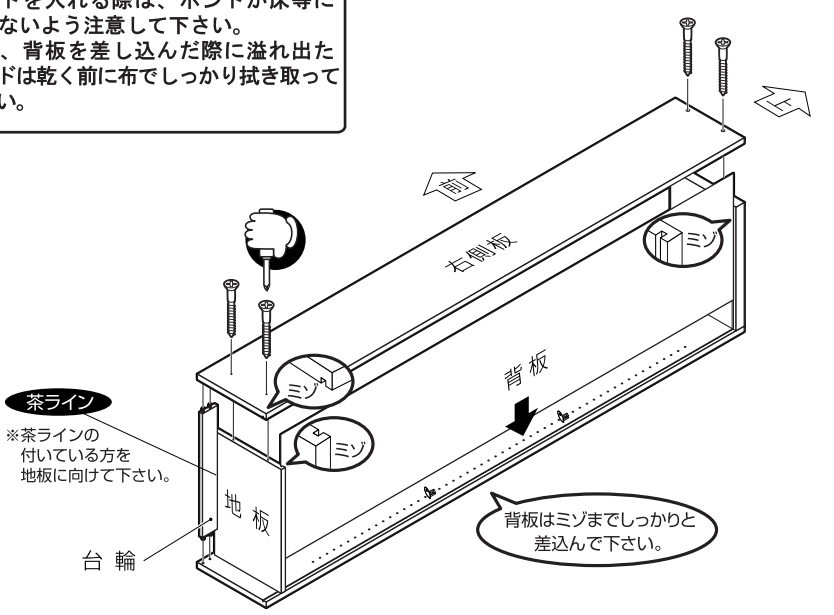
（ボンドを入れて下さい）

2人での作業がより安全でスムーズです。

まず、背板の入るミゾにボンドを入れます。



ボンドを入れる際は、ボンドが床等にたれないよう注意して下さい。
また、背板を差し込んだ際に溢れ出たボンドは乾く前に布でしっかり拭き取って下さい。

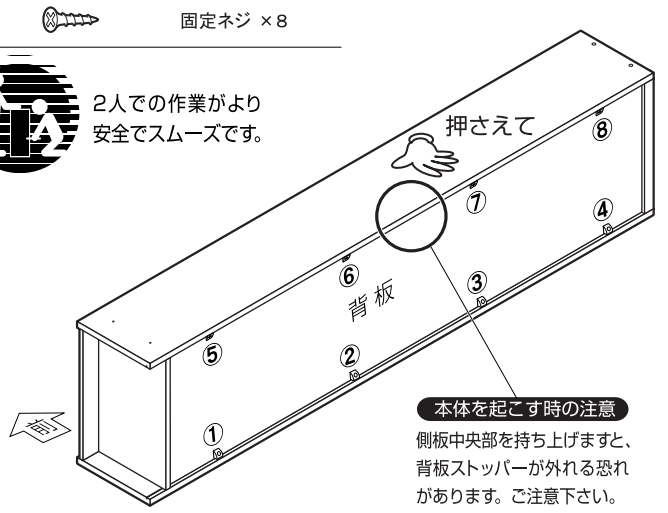


5 本体が横のまま、背板ストッパーを取付けます。

ストッパー ×8

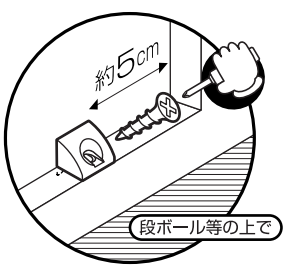
固定ネジ ×8

2人での作業がより安全でスムーズです。



本体を起こす時の注意

側板中央部を持ち上げますと、背板ストッパーが外れる恐れがあります。ご注意下さい。

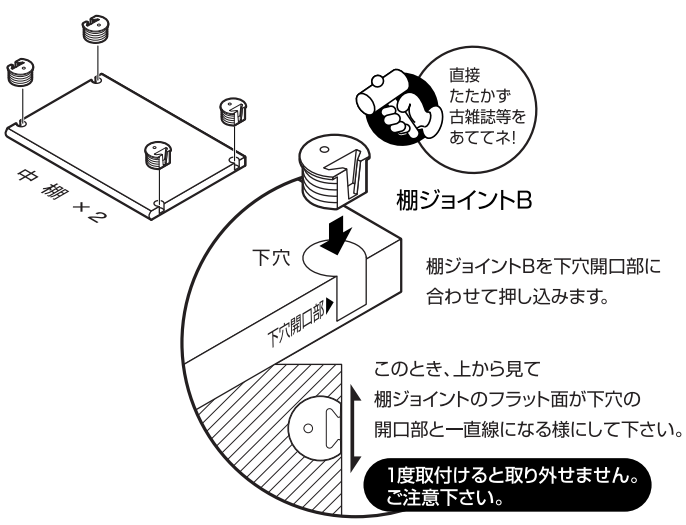


1 床等への傷つき防止のため、段ボール等を敷いた上で行 って下さい。
2 まず①～④の位置に側板の上から押さえながらネジをしめつけます。
3 次に本体を上下逆に置き換え⑤～⑧を同様に取付けます。

※詳しくは、別紙共通説明書「背板ストッパー取付けのポイント」 を参照して下さい。

6 中棚(×2)に棚ジョイントBを取付けます。

棚ジョイントB ×8



7 本体に中棚(×2)と移動棚(×4)を取付けます。

棚受ダボ ×16

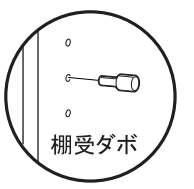
（中棚から先に取付けます。）

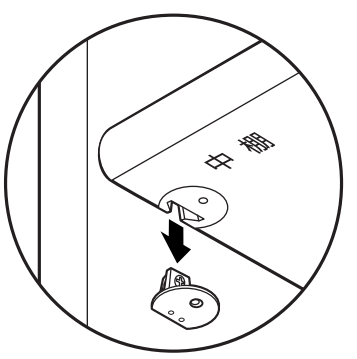
組立チェック！(重要)

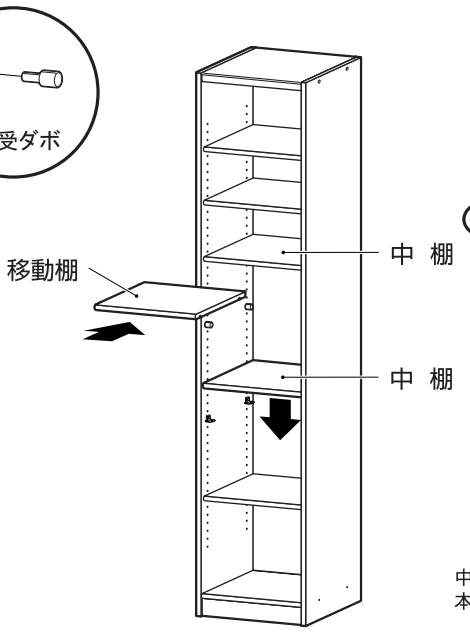
もう一度、下記のポイントを確認して下さい。組立手順を守らない場合、側板の膨らみや、棚板の落下の原因となり大変危険です。

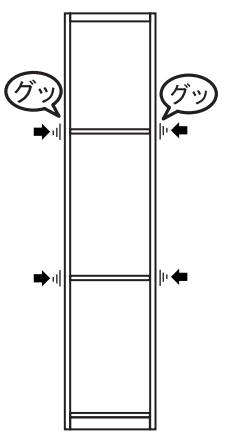
- ●棚ジョイントAが指定位置付近に取付けられていますか。
- ●棚ジョイントAはジョイントビスで側板にしっかり固定されていますか。
- ●背板がミゾから外れている箇所はありませんか。
- ●背板用のミゾにボンドを忘れずに入れましたか。
- ●背板ストッパーは指定の位置に取付けされていますか。

ジョイント下部の穴は固定用ではありません。
間違えて使用しないで下さい。







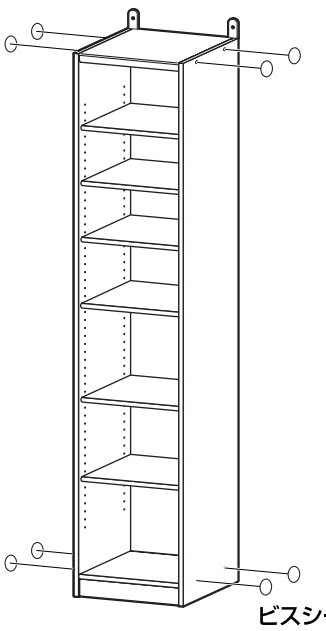


中棚を取付けることにより
本体がしっかり固まります。

8 本体に免震補助バンドを取付けて完成です。

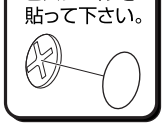
ビスシール ×8

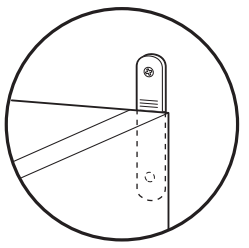
免震補助バンドセット



ビスシール

ビスシールを
貼って下さい。





免震補助バンド

家具の側板背面と壁面を樹脂製
バンドにより連結固定し、
前倒れしにくくします。

※詳しくは、別紙をご参照下さい。

安全に使用していただくために

- ●ボンドが固まってから収納物を入れて下さい。
  （ボンドはおよそ12時間で固まります。）
- ●商品の移動は、収納物を一度取り出してから行って下さい。
  （商品が破損する恐れがあります。）

注意

- ●床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないで下さい。▶倒れてケガをすることがあります。
- ●火のそばに近づけて設置しないで下さい。▶火災の原因になります。
- ●**ときどき各部のネジ類がゆるんでいないか点検し、増し締めをして下さい。**▶ゆるんだまま使用すると倒れてケガをすることがあります。
- ●異常を発見したら、そのまま使用せず弊社フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。▶破損や倒れてケガをすることがあります。
- ●分解や改造をしないで下さい。▶破損やケガをすることがあります。
- ●水や蒸気を製品にかけないで下さい。▶製品を傷めます。（スライド棚で炊飯ジャー等を使用する際には、スライド棚を引出して下さい。）
- ●ごくまれに木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。
  ▶肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、使い始めには換気を充分にして下さい。

お手入れ方法

①汚れを落とす場合は、カラ拭きまたは、ぬらして固く絞った布などで拭いて下さい。
②汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使って汚れを取り、ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取り、さらに仕上げは、乾いた布で水分を充分に拭き取って下さい。
※シンナー・アルコール類のご使用は避けて下さい。